

ワクワクするまちを
一緒につくろう!

小出じょうじ

検索



小出
じょうじ

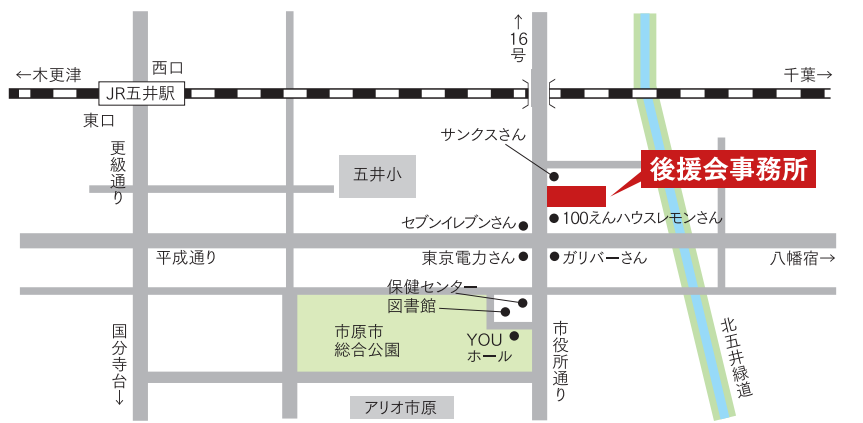
後援会報 vol.1
【インタビュー編】

こんにちは
小出じょうじです



後援会事務所のご案内

お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください



小出
じょうじ

小出じょうじ後援会

〒290-0055 市原市五井東 3-6-8

TEL.0436-20-8550 FAX.0436-37-3600

URL <http://koidejoji.com> E-mail info@koidejoji.com

[f https://www.facebook.com/Jojikoide](https://www.facebook.com/Jojikoide)



後援会討議資料



「小出さん、なぜ、市長選挙にでるの?」

私たちの誇り、市原市を大切にしたい いま、その気持ちが一層強くなりました

小出 じょうじ 私は、この市原市で生まれ育ち、そして今このまちで暮らしています。市原市は、私の誇りであり何にも代えがたい大切な宝物です。

私は、このまちを「誰もが誇りをもって、安心して暮らせるまち」にしたいという思いをもって、平成15年に市原市議会議員に初当選させていただきました。はや12年が経過していますが、この間に、その思いはますます強くなってまいりました。

いま少子高齢化の進行や人口減少、産業構造の変化など日本全体の構造的な問題は、市原市にとっても大きな課題となっています。臨海部のコンビナート企業群を有

し、全国有数の豊かな財政力を誇った市原市も、世界の経済情勢などによる税収減と社会保障関連経費の増加で、市制施行50年にして初めて普通交付税の交付団体になるなど、市の財政はひっばくしています。

これからのまちづくりは、過去50年の市政の延長では通用しない時代だと考えます。半世紀を経て、私たちはこれからの50年に向けたまちづくりを真剣に考えていかなければなりません。

私は、市長という使命と責任をもって、市民の皆さんとともに、市原の未来創生を進めていきたいと思っています。

小出じょうじの略歴です



編集スタッフより

小出じょうじ後援会報vol.1はインタビューを中心に構成しました。いかががでしたでしょうか。小出じょうじの具体的な政策は次号でご紹介させていただきますので楽しみに!



「小出さん、地方創生で
市原市はどうなりますか？」



「小出さん、市原市長になって
何がしたいのですか？」

本当の地方創生は、市民の皆さんとの 協働がなければできません

小出 じょうじ 急速に進む少子高齢化や人口減少社会をふまえ、国、地方をあげて地方創生の取り組みが開始されました。しかし、急速な少子高齢化等がもたらすさまざまな課題は、一朝一夕に解決できるものではないと考えます。しっかりとしたビジョンを打ち立て中長期的な取り組みが必要です。

第一は教育・子育てによる「ひと」づくり、第二には地域の活性化に資する「しごと」づくり、そして持続可能な「まち」づくりが重要です。特に、市原市の歴史や文化、立地環境などをふまえ、地域の持つ個性や資源

を生かし、まずはJR3駅など各拠点地域を輝かせていくこと、そして、高速幹線道路や鉄道を軸に近隣市や対岸の東京との広域連携を進めていくことが、市原市の創生につながるものと考えます。

また、行政、市民、事業者など、それぞれの役割分担を明確にして、真の協働のもとで進めていかなければ、将来にわたって持続可能なまちづくりはできません。市原市で生まれ育った子ども達が、大人になってもこのまちを心から愛し、そして暮らしている魅力と誇りあるまちを創生してまいります。

私は、市民の皆さんが「ずっと住み続けたい」と思う まちづくりをしっかり進めます

小出 じょうじ 市原市議会では、色々な委員会
の常任委員長や議会改革のプロ
ジェクトリーダーを経験し、平成25年の市
原市施行50周年の節目には第48代の市
原市議会議長を務めさせていただきました。

この間、市議会において議論を重ね、議
員定数の36名から32名への削減や、議会
の活性化につながる一問一答方式の導
入、市民に開かれた議会へ向けた議会基
本条例の制定などさまざまな議会改革に
取り組んでまいりました。

これからは、そうした経験や実績、また、
民間企業の経営者としての感覚をもとに、
まずは市政改革に取り組みたいと考えて
います。

同時に、時代の変化と市民ニーズに的
確に対応した政策を戦略的に進めていか
なければなりません。政策は、市民のため
にあるものです。市民の皆さんが、この市
原市で「子育てをしたい」、あるいは「働
きたい」、そして「ずっと住み続けたい」と思
うまちづくりを、腰をすえてしっかりと進めてま
います。

災害に強く、安心して暮らせる人にやさしいまち 「市原市」をめざします

小出
じょうじ

東日本大震災や今日の豪雨・豪雪等による災害をみると、いままでの想定そのものが通用しなくなっています。首都圏を震源とする大地震発生の確率が高まる中、市原市でも防災・減災対策を進め、危機管理能力をより一層高めていくことが急務となっています。

市内のインフラ施設の老朽化や、臨海部コンビナートからの避難経路の確保は大きな課題と考えており、災害に強いまちづくりを基軸にしなが、他の政策につい

ても併せて考えていかなければなりません。

特に、保健・医療・福祉、子育て・教育、道路・交通、防犯など、特に市民ニーズが高い、安心して暮らせる人にやさしい生活環境を実現するための施策を進めてまいります。

これらの展開にあたっては、既存の事業を徹底的に洗い直し、優先順位をつけてメリハリのある市政を行ってまいります。

「小出さん、みんなが安心して暮らせるまちにして欲しいです」

